

活用方針・導入/活用までのステップ



VLP取組概要



■ VLP活用のねらい

- 不登校の児童・生徒がオンライン上の仮想空間を活用し、新たな居場所や学びの場において外部とつながりをもつこと。

■ 対象生徒・児童

- 教育支援センター（はくちょう教室）に登録済だが通室することが難しい児童・生徒及び未登録の児童・生徒でフリースクール等民間施設にも通っておらず、VLPが必要と思われる児童・生徒

■ 運営時間

- 月曜日から金曜日の午前10時から12時まで、午後1時から3時まで

■ 活用方法

- 配布されたアカウントより自宅から入室



VLPの導入/活用までのステップ

【パターン1】

- ① 児童・生徒保護者から学校に相談
- ② 学校から教育委員会に相談
- ③ 教育委員会で協議
- ④ 学校にアカウント付与
- ⑤ 学校から保護者にアカウント付与
- ⑥ VLPに入室

【パターン2】

- ① 児童・生徒の欠席状況を鑑み、教育委員会から学校にアカウント付与
- ② 学校から保護者にアカウント付与
- ③ VLPに入室

活動・取組み内容

活動・取組み内容

【導入前】（令和5年度末）

- 基礎研究（全国で先行的に実施している好事例の収集）
- 本区としてのねらいや目的、方向性や運用ルールの確認
- 各部署との調整、スキームの構築
- 専属の担当者を配置するための予算要望
- 学校や保護者に施策の周知・理解啓発

【導入初期】（令和6年度当初）

- 担当者による運用ルール等の確認
- 担当者による操作研修
- アカウント付与のお便り作成
- セミナー等に参加し、都の先行自治体の事例収集
- 保護者向けQA資料の作成

【運用期】（令和6年度5月以降）

- 入室者の対応記録作成
- 事業者（都）への月次報告
- 校園長会にて進捗状況報告
- 児童・生徒の欠席状況を鑑み、教育委員会から学校にアカウント付与
- 「桃太郎電鉄 教育版」の活用申請

VLPとは…？



不登校のお子さんのために、いつでも教育とつながれる空間です。
学校に苦手意識のあるお子さんに配慮したデザイン空間で、
いつでも自分のペースに合わせて学習できます。

どんなことができるの？

コミュニケーションの手段をお子さん自身で選んで、
会話をしたり、自主学習をしたりすることができます。



↑動画：渋谷区の事例紹介

どんな空間があるの？

3Dメタバースの空間です。教室スペースや
学習スペース、相談スペース等、学習目的に
合わせてご利用いただけます。



↑動画：空間内の紹介

よくある質問

Q 不登校の子が参加するの？ A はい、不登校のお子さんを対象としております。 他の学校のお子さんも参加します。 所属の空間ですので、ルールを守って参加してください。	Q 勉強はできるの？ A 様々な学習コンテンツを用意しております。 質問があれば、VLP内にいる先生に相談してください。
Q 自宅から参加するには？ A お子さんのタブレット端末からご参加ができます。 ネット環境によっては動作が重くなる場合があります。	Q 管理方法が心配… A オンライン支援員が監視しており、トラブルに対応しています。また、教育委員会から指導が見られます。 心配な点があれば、お問い合わせください。
Q 操作方法や困ったときは？ A 常駐しているオンライン支援員に聞くことができます。 ご利用の際は、操作手順書をお渡ししますので、ご確認ください。	【問い合わせ先】 千代田区教育委員会事務局子ども部 指導課 VLP担当 電話：03-5211-4286



KONAMI

「桃鉄」で学ぼう！

桃太郎電鉄 教育版

日本のおもしろい！

MOMOTETSU EDUCATION EDITION

桃太郎電鉄とは？

1989年から30年以上にわたる半世紀にわたりお楽しみいただいているセーゲームシリーズです。
プレーヤーは鉄道事業者となり、日本全国を巡って物件を買収し、最終に定めた年数が経った時に
一番高値を持っているプレーヤーが勝利となります。『桃太郎電鉄』一役初 平成 令和も 定番ゲームは、お家
をさらけお楽しみください。最新版用紙数350万枚(2022年3月 時点)を収録した上巻と下巻があります。

成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

- ✓ リーフレットを活用した学校や保護者への施策の周知・理解啓発
- ✓ 専属担当者の配置と連携
- ✓ 「誰一人取り残さない」理念の下、新たな居場所や学びの場の提供
- ✓ 児童・生徒の欠席状況を鑑みたアカウント付与

次年度以降の方針

令和6年度の取組に加えて、以下の方針を考えている。

- ✓ 各校に設置している校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）での活用
- ✓ 管理者用アカウントをスクールライフサポーターへも付与
- ✓ 教育支援センター（はくちょう教室）登録時にアカウントを付与
- ✓ 企業や大学生等との連携

利用者の声



児童・生徒

- VLP上で、Web教材「デキタス」を自分のペースで集中して取り組むことができた。
- チャットやボイスチャットで支援員の方とコミュニケーションを図ることができた。
- 学校からアカウントが付与されたので、勇気を出して入室してみた。
- もう少しVLP上でできることが増えるといいな。



教職員や保護者等

- 教育委員会から配布されたリーフレットでVLPを知り、学校にアカウント申請をした。
- 子どもがVLP上でコミュニケーションを図ったり、集中して学習に取り組んだりしていた。
- 数回入室はしたが、継続しなかった。
- 学校からアカウントを付与されたので、子どもに促したが、結局一度も入室することはなかった。

～誰一人取り残されない学びの実現に向けて～

令和6年3月 千代田区教育委員会

近年、様々な事情により学校や教室に通うことが難しい児童・生徒の数が増えており、全国的に喫緊の課題となっています。千代田区では、令和6年度の不登校対策事業として「校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）」「はくちょう教室」「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）」「フリースクール等民間施設との連携」と4つの事業を柱として未来を担う千代田区の一人一人の子どもたちが誰一人取り残されずに教育を受けることができる「多様な学びの場」を整えていきます。

令和5年度まで

家庭への支援
スクールカウンセラー（SC）
スクールソーシャルワーカー（SSW）
登校サポーター



登校



家庭

通室



白鳥教室（適応指導教室）

個別最適な学び
適応指導員による個に応じた学びに対応

教育長・指導課長

千代田区教育委員会教育長・指導課長からの令和6年度の不登校対策事業についての説明です。



令和6年度から 児童・生徒一人一人のニーズに対応し、多様な学びの場を確保します！

NEW

①校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）

自分のクラスに入りづらい児童・生徒が落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる環境を区内の全ての学校内に設置します。教科の特性や学習状況に応じて学校から配備されるオンライン授業に一人一台端末を活用して受けることもできます。

問い合わせ先

各小・中・中等教育学校の担任や生活指導主任、教育相談主任まで

NEW

②はくちょう教室（適応指導教室）

集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・指導を行い、社会的自立に資することを基本とします。

【学習環境】

- (1) 校種別の教室を設置します（小学校・中学校）。
- (2) 個別学習室を設置します。
- (3) フリースペース（軽い運動・グループ活動・読書）を設置します。

問い合わせ先

各小・中・中等教育学校の副校長まで
はくちょう教室 03-3256-8446

NEW

③バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）

VLPは3Dメタバース空間により構築されたバーチャル空間であり、PCやタブレットなどGIGA端末を通してアバターを操作し、コミュニケーションをとることができます。児童・生徒の日常的な利用を想定し、様々なコミュニケーション機能を実装しています。また、VLP上では、学習・教室スペースなどの区画や、プログラミング学習・日本語学習などの学習コンテンツを利用した学びを実現することができます。

問い合わせ先

千代田区教育委員会事務局子ども部指導課 03-5211-4286



一人一台端末の活用

教科の特性や学習状況に応じて各学校から配備されるオンライン授業に家庭から参加することが可能です。



登校サポーター

サポートがあれば登校できる児童・生徒に対して大学生のボランティアをサポーターとして派遣し、朝の登校の支援及び登校後の寄り添い支援を行うことにより、児童・生徒が安心して登校することができるようにします。



家庭



スクールカウンセラー（SC）

学校に臨床心理士等の専門家を派遣し、児童・生徒・家庭に対して支援を行います。



スクールソーシャルワーカー（SSW）

教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて児童・生徒・家庭の支援を行います。

NEW

④フリースクール等民間施設との連携

教育委員会及び学校がフリースクール等民間施設と定期的に情報交換を行い、子どもの学びを支えていきます。

～誰一人取り残さない学びの実現に向けて～
千代田区不登校対策事業

千代田区教育委員会事務局
令和6年4月1日

③バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（以下 VLP）は 3D メタバース空間であり、PC やタブレット端末など GIGA 端末を通してアバターを操作し、コミュニケーションをとることができます。VLP 上では、学習スペース・教室スペースなどの区画や、プログラミング学習・日本語学習などの学習コンテンツを利用した学びを表現することができます。

目的：不登校の児童・生徒がオンライン上の仮想空間を活用し、新たな居場所や学びの場において外部とつながりをもつこと。

対象：①はくちょう教室未登録の児童・生徒でフリースクール等民間施設にも通っておらず、VLP が必要と思われる児童・生徒

②はくちょう教室に登録済だが通室することが難しい児童・生徒

※アカウント数は児童・生徒 60 アカウント

開室時間：月曜日から金曜日の午前 10 時から 12 時、午後 1 時から午後 3 時まで

運営本部：教育研究所

学習内容：原則、自学自習

※VLP 内の学習コンテンツの利用も可能

自学自習用 Web 教材「デキタス」

プログラミング教材「みんなでプログラミング」

自学自習用 AI 教材「すらら」

にほんご教材「すらら にほんご」

登録手順：下記参照



担当：教育研究所教育研究専門員（VLP 担当 2 名）

備考：VLP を活用する児童・生徒のルール（下記参照）

- ・入室する際のアバターの名前は最初に決めた名前から変えないようにする。もし、変えたい場合は担当に伝えましょう。
- ・VLP に入室したら先生に挨拶しましょう。
- ・他のアバターと仲良くお話ししましょう。（みんなが安心して過ごすことができるように、相手の嫌な気持ちになることは言わないようにする）

千代田区立 学校 年
さんの保護者様

令和6年 月 日

千代田区教育委員会事務局 子ども部
指導課長 上原 史士

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)アカウント配布について

日頃より千代田区の教育活動へのご理解・ご協力ありがとうございます。
このことについて、アカウントを配布いたします。つきましては適切な保管をお願いいたします。

記

1 対象

千代田区立学校でバーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)を希望する児童・生徒

2 留意点

- 開室時間は、月曜日から金曜日の午前10時から12時まで、午後1時から3時までです。
- 児童・生徒のアカウント名及びログインIDで、入室状況を把握いたします。

保護者保管用

学校名() 学年() 年
児童名()



VLP ログイン URL <https://ticket.xcloud.jp/login/>

	ログイン ID	パスワード
VLP		
デキタス		
みんなでプログラミング		

「デキタス」「みんなでプログラミング」は VLP 内の学習コンテンツエリアからログインをします。

児童・生徒保管用 バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)アカウント

学校名() 学年() 年

児童名() ユーザー名()



VLP ログイン URL <https://ticket.xcloud.jp/login/>

	ログイン ID	パスワード
VLP		
デキタス		
みんなでプログラミング		

「デキタス」「みんなでプログラミング」は VLP 内の学習コンテンツエリアからログインをします。

安全に楽しく使うための3つの約束

- (1) 他者のアバターと仲良くお話ししましょう。
- (2) 入室する際のアバターの名前は最初に決めた名前から変えないようにしましょう。
もし変えたい場合は、VLP内の大人(支援員)に伝えましょう。
- (3) 相手の嫌な気持ちになることや個人情報(住所、電話番号)は、言わないようにしましょう。